

# 事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策1-2-2 県産品の販路開拓・拡大の支援
---------	------------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	しまねブランド推進課長 日下純子	電話番号	0852-22-6858
----------	------------------	------	--------------

事務事業の名称	6次産業推進事業		
目的	(1) 対象	6次産業に取り組む県内の農林漁業者、事業者等	
	(2) 意図	1. 小さな取り組みからのステップアップを支援し、所得向上と地域活性化を図る。2. 多様なネットワーク形成を支援し、地域の主体的な取り組みと情報共有化、効率的な事業推進を図る。	
事業概要	島根県には、豊かな自然の中で育まれた農林水産物が数多くあり、地域資源を活用した6次産業や地産地消を進める様々な取り組みが拡大している。しかしながら、農林漁業者が中心となった6次産業の取り組みにおいては、事業者が単独で取り組んでいる小規模なものが大半となっている。島根県ならではの6次産業を推進するにあたり、多様な事業者が、地域の総意工夫を生かしながらネットワークを構築して取り組む新商品の開発や製造等を支援。		

## 2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	ネットワークにより6次産業に取り組む事業者数	目標値			
式・定義	島根型6次産業ステップアップモデル事業を実施した事業者数	実績値				21.00		件
		達成率				210.00		%
式・定義	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値			16.00	20.00	
式・定義	6次産業化法に基づく総合化事業計画の認定数	実績値			13.00	13.00		件
		達成率				81.30		%

## 3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	168,003	155,969
うち一般財源 (千円)	58,469	69,604

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	(未選択)
---------------------	-------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- 島根型6次産業ステップアップモデル事業
  - 申請数41件に対し採択数21件、採択21事業の取組成果として、新規雇用増14名、新商品開発63品、新販路開拓33件
- 6次産業化アドバイザー派遣事業
  - 27事業所52回派遣、アドバイザー登録34名
- 6次産業化ネットワーク活動交付金
  - 3事業者が整備事業を実施
- 島根県6次産業化サポートセンターを県が委託し設置（㈱農援隊）

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 市町村、商工会議所、商工会、県機関等との連携により、多様な6次産業（6次産業化、農商工連携、地域振興、地産地消）の取組の掘り起こしができ、事業申請41件に対して21件を採択
- 従来の単独の取組から、ネットワークによる取組が拡大
- 市町村及び事業者アンケートから事業活用後、国事業活用等のステップアップ意欲が高まっている。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- 困っている「状況」
  - 分野を超えた事業ニーズがあり、全要望に応えられない状況
  - 取組数の増加に伴い、事業者相談、フォロー活動を円滑に実施するには、支援機関との連携強化が必要
  - 個の取組みから面の取組みへのステップアップに向け、市町村との連携強化・地域主体の取組誘導が必要
- 困っている状況が発生している「原因」
  - 十分な予算確保がされていない
  - 支援機関との連携が弱い
  - 市町村の積極的な取組が十分でない
- 原因を解消するための「課題」
  - 十分な予算確保
  - 支援機関との連携体制の構築
  - 市町村を中心とした地域の主体的な取組創出

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 事業の遂行にあたり、支援機関との連携を強化し、フォロー体制を構築
- 雇用増、人口増等に取り組む地方創生の動きと連動し、市町村が主体となった6次産業推進の仕組みづくり

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価（任意記載）